

# 多文化共生事業 ローカライズ研修会



## 研修は「参考」から「応用」へ

「ただ優良事例を聞くだけの研修ではもの足りない」  
「優良事例を自分の地域で応用したい」  
そう考えている地域・団体の方、お待ちしております。

### Good Practice

● 富山県  
とやま国際センター

● 滋賀県  
滋賀県国際協会

● 山形県  
山形県国際交流協会

参加定員  
**18名** (各テーマ6名)

申込締切  
**4/24**

日時：平成27年5月15日(金) 13:00 ~ 17:30 @ (一財)自治体国際化協会 1階会議室

### 《WORK SHOP》

優良事例のポイントを自らの地域に応用する(=ローカライズ)



## ◆ Section1 (13:00~13:50) ローカライズのためのポイント解説等

### ローカライズする際の考え方を学ぶ

講師：(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 理事 高橋 伸行 氏

※参加者全員で受講

## ◆ Section2 (14:00~16:10) 優良事例の地域での実践を考える

### 優良事例を学び、そのローカライズ方法を検討する

- ①それぞれの事例について事業担当者から優良事例たる秘訣・ポイントを聞く
- ②事前課題及び①での学びを基に、優良事例のポイントを地元で応用する方法を検討  
(「期待と課題の整理」及び事例のポイント導入のための「ロードマップ」づくり)

テーマ：子ども・教育

事例：外国にルーツを持つ子どもへの教育支援事業2014

ファシリテーター：(公財)滋賀県国際協会 大森 容子氏

テーマ：推進体制の整備

事例：山形在住外国出身者ネットワーク構築・強化事業

ファシリテーター：(公財)山形県国際交流協会 川向 有希氏

テーマ：災害時の外国人支援

事例：広域連携による災害時外国人支援防災訓練

ファシリテーター：(公財)とやま国際センター 中村 則明氏

実際の  
事業担  
当者は  
ファシリ

※テーマ別に班に分かれ、①を班毎に実施した後、②は参加者各自で実施

## ◆ Section3 (16:20~17:10) 各班で共有・検証

### 作成したロードマップを各班で共有

Section2で作成した各参加者のロードマップについて、参加者同士の多様な観点から意見交換を行い、ローカライズの実践をより具体的にイメージ

## ◆ Section4 (17:10~17:30) 全体での共有・ふりかえり

日時：平成27年5月15日(金) 13:00~17:30 @ (一財)自治体国際化協会 1階会議室

お申込方法：申込書を [tabunka@clair.or.jp](mailto:tabunka@clair.or.jp) 又は FAX 03-5213-1742 までお送りください

一般財団法人自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課 担当：河合 あて

FAX: 03-5213-1742 TEL: 03-5213-1725

E-mail: tabunka@clair.or.jp

一般財団法人自治体国際化協会 多文化共生事業ローカライズ研修会  
参加申込書

団体名：

申込代表者：

電話：

E-mail：

所属名	職名	氏名	研修会		
			子ども・教育	推進体制の整備	災害
(例)自治体国際化協会	主事	クレア 太郎	①	②	—

※1 研修会は、参加希望のテーマ(子ども・教育、推進体制の整備、災害)について、希望順に番号をご記入ください。その際、1つ又は2つのテーマにのみ参加を希望される場合は、希望順に1番又は2番までの数字をご記入ください。

※2 研修会への参加申込みは、席に限りがあるため、1団体2名までとし、定員を上回る場合は先着順とさせていただきます。なお、2名お申し込みいただいた場合、1名のみのお申し込みをお願いする場合があります。何卒、ご了承ください。

※3 研修への参加に当たっては、事前課題に取り組んでいただきます。事前課題の詳細については、参加者の方へ別途送付する開催概要をご覧ください。(事前課題：優良事例に関する事前配付資料の理解及び課題検討シートの作成)

備考

--

お申し込み期限：平成27年4月24日(金)